

# THE ROOF



山本森之助《冬の磐梯山》1918（大正7）年頃 油彩・キャンバス

## C o n t e n t s

- 「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」
- 企画展でふりかえる 郡山市立美術館の25年
- 寄稿「盛岡の美術と今泉先生」
- Report
- Information



# ブリューゲル展 Brueghel

画家一族150年の系譜

## ブリューゲル Brueghel 画家一族150年の系譜

16世紀後半のフランドルを中心に活動したピーテル・ブリューゲル1世（1525/30〜69）に始まり、150年にわたって画家を生み出したブリューゲル一族。約100点の作品作のほとんどは、欧米の個人コレクションであるため通常は公開されていない貴重な作品で日本初公開。一族の系譜を辿りながら、16、17世紀フランドル絵画の魅力をご紹介します。

フランドルとは、現在のベルギー西部とオランダ南部、フランスの北部にかけての地域のこと。中世に毛織物業を中心に商業、経済が発展し、いくつかの都市を中心に繁栄しました。

フランドルの英語読みに由来するフランドルの方が、日本人にとって耳慣れているかもしれません。テレビアニメにもなっている有名な『フランドルの犬』は、フランドルを代表する都市アントワープが舞台です。ピーテル・ブリューゲル1世が長く住んだのもこの町でした。

当時の限られた記録から40歳前後に亡くなったと考えられるピーテル・ブリューゲル1世ですが、早くから才能を発揮し、『バベルの塔』や『野外での婚礼の踊り』

### 企画展

## ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜

2019年1月11日（金）～3月31日（日）

郡山市ホストタウン交流事業  
福島中央テレビ開局50周年事業  
福島民友新聞創刊125周年事業

開館時間：午前9時30分～午後5時  
（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日  
（1月14日、2月11日は開館、1月15日、  
2月12日休館）

観覧料：一般／1500（1200）円、  
高大学生・65歳以上／900（720）円  
※（ ）内は前売り・20名以上の団体料金  
中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：ブリューゲル展実行委員会  
[郡山市立美術館・福島中央テレビ・福島民友新聞社]  
協賛：光村印刷、佐藤燃料、福島県商工信用組合、  
福島トヨタ自動車、ベスト学院進学塾、福島交通郡山支社

協力：日本通運

企画協力：NTVヨーロッパ

後援：ミヤギテレビ、山形新聞、山形放送、読売新聞東京本社福島支局

特別協力：ARTHEMISIA





1



2

1. ヤン・ブリューゲル 1 世、ヤン・ブリューゲル 2 世  
《机上の花瓶に入ったチューリップと薔薇》  
1615-1620 年頃 Private Collection

2. ピーテル・ブリューゲル 2 世  
《鳥罟》  
1601 年 Private Collection

など数々の名作を生みました。作品はすぐに各国の王侯貴族など富裕層が購入、名声は高まりましたが、当時の庶民は実際の作品を目にすることが難しかったのです。

画家となった息子たちは、人々の需要に応えるため父の作品の模倣作品を制作。それは父の名をさらに広めることにもなりました。彼らはそれぞれ、オリジナル作品も描き、決して模倣だけの画家ではありませんでした。特に次男ヤン・ブリューゲル 1 世は、花のブリューゲルとも呼ばれて高い人気を誇りました。

長男ピーテル・ブリューゲル 2 世が伝えた父の画題のひとつに、今回出品される《鳥罟》などのフランドルの冬景色があります。画面の中には、スケートやカーリングをする人々が描かれ、細部まで見ごたえのある作品です。こうした当時の人々の冬の暮らしは、東北に住む私たちにも時代を越えて共感できるものではないでしょうか。

孫、ひ孫へと画家一族の系譜は 150 年続き、ブリューゲルはブランドとして確立されたということが出来ます。こうした一族の軌跡を約 100 点の出品作でご覧いただく今回の企画展は、パリ、ローマなどで好評を博した世界巡回展の日本最終会場です。奇しくもピーテル・ブリューゲル 1 世没後 450 年となる 2019 年の年初め、脈々と受け継がれた画家の魂を感じていただけることでしょう。(中山恵理)

## 「ブリューゲル展 画家一族 150 年の系譜」関連イベント

### ブリューゲル展ガイドツアー

日時：1月15日(火) 13:30～  
場所：企画展示室  
講師：山田五郎さん  
定員：50名



要申込  
要観覧券

### 応募方法

#### 【郵便はがき】

おもて  
〒963-0666  
郡山市安原町字大谷地 130-2  
郡山市立美術館  
「山田五郎ガイドツアー」宛

うら  
①郵便番号  
②住所  
③氏名  
④年齢  
⑤性別(任意)  
⑥電話番号

応募締切：2018年12月20日(木) 必着

#### 【応募フォーム】

ブリューゲル展ウェブサイト  
[https://www.fct.co.jp/brueghel\\_20190115/](https://www.fct.co.jp/brueghel_20190115/)  
応募締切：2018年12月20日(木)

- ・当日は休館日のためガイドツアー参加者のみ入館になります。
- ・お申し込みは、1件につきお一人様まで。
- ・当選者の発表は、福島中央テレビから放送する当選はがきをもってかえさせていただきます。

### アート・テーク

#### 「中世ヨーロッパの色 ブリューゲル作品に探る」

日時：1月26日(土) 14:00～  
場所：多目的スタジオ(入場無料)  
講師：佐治ゆかり(当館館長)

### 美術講座 場所：講義室(入場無料)

#### 1 「オランダの冬の暮らし」

日時：2月9日(土) 14:00～  
講師：ヨースト・クラルトさん  
(郡山市国際交流員)  
当館学芸員

#### 2 「描かれた植物と生きものたち」

日時：2月16日(土) 14:00～  
講師：当館学芸員

#### 3 「ブリューゲル一族と工房制作」

日時：2月23日(土) 14:00～  
講師：当館学芸員

### レクチャーコンサート

日時：3月1日(金)  
18:30～20:00  
場所：中央公民館  
出演：圓谷俊貴さん(チェンバロ、ピアノ、レクチャー)  
ノエ・乾さん(ヴァイオリン)  
定員：500名



© Seichi Uozumi

※詳細は1月中旬頃、当館ホームページ等で発表します。

### 家族で楽しむブリューゲルクイズ

期間：1月～2月中の土・日・祝  
場所：美術館内  
対象：中学生以下のお子さんと保護者

要観覧券

クイズの正解数に応じて  
抽選で「展覧会グッズ」  
が当たります！

参加者全員に  
プレゼントも  
あるよ！

### 音声ガイド

音声ナビゲーター  
声優 石田彰

アニメ「エヴァンゲリオン」シリーズの渚カヲル役などで知られる声優の石田彰が、画家や絵画の中の登場人物に扮し、展覧会をナビゲート。絵画の世界に迷い込む、不思議な旅へと誘います。



# 郡山市立美術館の25年

1992年に開館した郡山市立美術館は、昨年2017年11月21日、25周年を迎えました。当館にご来館くださった皆様、いつも応援し、協力してくださる皆様に心より感謝申し上げます。

2017年10月より改修工事に伴い長期休館しましたが、25周年の年である2018年7月からは、再オープン記念として企画展「ターナー 風景の詩」を開催しました。照明などを入れ替えて新しくなった鑑賞空間で、作品の繊細な色彩、緻密な版画作品などをご覧いただけるようになりました。今後も皆様に様々な美術を発信していけるよう、多彩な企画展活動をしてまいります。

当館ではこれまで150本を超える企画展を開催してきましたが、今回は、周年記念として行われた企画展をふりかえります。

## 郡山市立美術館 開館記念展

英国風景画展  
特別展示/マンチェスター市立美術館所蔵 英国水彩画

11/21 ~ 1/17

開館記念展として、当館の収集展示の柱である英国美術にちなんで、「英国風景画展」を開催しました。特に水彩画を通じた日英の美術における交流は、当館の常設展示でも多く取り上げており、開館記念として意義のある展覧会になりました。



2002

10周年



ヴィクトリア&アルバート  
美術館所蔵  
英国ロマン主義絵画展  
11/22 ~ 12/27



桃山陶芸と魯山人展  
9/14 ~ 10/27

1997

5周年



描かれた東海道五十三次  
浮世絵・広重から、  
新発見・油絵東海道まで  
11/22 ~ 1/18

1992

3周年



英国肖像画展  
エリザベス一世から  
ポール・マッカートニーまで  
10/7 ~ 11/23

### 追悼

佐藤昭一氏  
三木多聞氏

当館の開館、事業運営にご尽力いただいた佐藤昭一氏、三木多聞氏が逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

佐藤昭一氏は、1927年、田村郡滝根町に生まれ、東京美術学校(現東京藝術大学)卒業後、郡山市を拠点に、前衛美術運動の推進力として活躍されました。美術館設立の市民運動の中心となり、開館後は友の会理事を務められました。当館では2003年に「佐藤昭一展—交響する絵画—」を開催しました。

2018年3月8日、享年91歳にて逝去されました。

三木多聞氏は、1929年、郡山出身の木彫家・三木宗策の次男として東京に生まれ、国立国際美術館、東京都写真美術館などの館長を歴任されました。美術評論家として戦後の美術界を牽引され、当館の建設には構想段階から各種委員として貢献されました。

2018年4月23日、享年89歳にて逝去されました。





ターナー 風景の詩 7/7 ~ 9/9

長期休館明けの展覧会として、企画展「ターナー 風景の詩」を開催しました。英国各地と日本国内の美術館から選りすぐった作品で、ターナーの画業と芸術の全貌を紹介しました。水彩画、油彩画の他にもターナーにとって重要な要素のひとつであったのが版画です。この展覧会では当館所蔵の版画が多数出品され、多くのお客様にご覧いただきました。



開会式の様子 (7月7日)



関連ワークショップも開催しました /



ワークショップ  
「ターナーに挑戦! 水彩で風景を描く」

2018年8月18日(土)

講師: 守田篤博さん(画家) 場所: 創作スタジオ、美術館前庭

水彩絵具による風景画の制作を行いました。色の重なり美しい、透明水彩の特徴を活かした技法などを教えていただきました。

25周年

2018

2017

2012

2007

改修工事・長期休館

老朽化が進んでいた館内設備等の改修工事を行うため、開館以来初めて長期休館しました。この期間に主に空調設備、監視システム、照明設備の更新を行いました。休館明けには、お客様から「照明が明るくなって作品が見やすくなった」「作品がよりきれいに見えるようになった」といった声が聞かれました。

20周年



バーン=ジョーンズ展

10/23 ~ 12/9



ベスト・セレクション  
所蔵作品日英近代美術名品選

9/22 ~ 10/14

15周年



Yuasa Joji による  
湯浅譲二展

11/3 ~ 12/16

TOPICS

「自転車の世紀」展の図録、  
CatalTo 2017 「クロスジャンル」賞を受賞

東京大学大学院の比較文学會が主催する CatalTo (展覧会図録品評勝手連 Tokyo) は、毎年、一年間に出版された展覧会カタログを内容、装幀、学術的価値等の観点から、とくに優れたものを選出し、ささやかな賞を送る会を開催しています。

今回は、約 200 冊の図録の中から 9 冊が選考され、2017 年に郡山市立美術館が中心となって開催した展覧会「自転車の世紀」展の図録が、「クロスジャンル」賞を受賞し表彰状が授与されました。



「クロスジャンル」賞の表彰状

選評(抜粋)

「自転車」という誰にとっても身近な乗り物を基軸として、美術、漫画、写真、生活文化、テクノロジー、環境問題へと、様々なジャンルに読者を誘ってくれる一冊です。



授賞式会場 (2018年7月27日)

寄稿

## 盛岡の美術と今泉先生

本田貴侶（彫刻家）

1971（昭和46）年、私が岩手大学特設美術科に赴任し彫刻の専門実技を担当した当時の盛岡は、人口密度に対して同人誌の出版が日本一、人口に比例して絵が一番売れる街：東北の小京都として落ち着いた文化的な、魅力的な街でした。そこで開かれていた県展は旧来の洋画、日本画、彫刻、工芸、写真の部で出来ていました。私はこれを改革して実行委員会で大賞制度を導入し、全部門の審査員でグランプリを選出することを提案しました。また環境美術部門を設け、活力のある展覧会にしました。ゲストとして環境美術の菅木志雄氏を招待し、新しい造形の啓蒙と広がりを試みました。この流れは今でも芸術祭に続いているそうです。

私は20代後半でしたが、精力的に芸術活動をし、高村光太郎の芸術についての佐藤隆房氏とのテレビの美術番組での対談、新聞での彫刻についての連載コラムやザッキン展といった展覧会の作品解説など、表に出る事も多くなったことで、今泉亀撤先生の目に止まったのではないのでしょうか。先生は私の研究室、彫塑教室に突然来られてブロンズ鑄造のことを質問されました。特にブロンズの色付けに興味をもたれたようで、メモを取りな

がら熱心に聞いて行かれました。先生が興味をもたれたおはぐるま仕上げは「眼の人」今泉亀撤のコレクション」展に出品されている《座球体・はま》に使っています。この作品は親交厚かった盛岡出身の鑄金家鈴木貫爾先生の芸大での教え子、菓子満さんの若かりし頃の鑄造です。組み込んだ型を切断せずに原型のまま鑄造出来る素晴らしい技術を持っています。



（図1）  
《座球体・はま》  
1980（昭和55）年  
ブロンズ

余談になりますが、当時野外彫刻が少なかった盛岡に《北風に立つ少年啄木像》が設置されることになり、私にその依頼が来ました。旧制盛岡中学校での啄木の同級生三人が生きておられ、「盛岡は啄木の育った故郷なのに、日本では函館に啄木像があるだけで盛岡にはありません。是非作って下さい」とのことでした。啄木はよく授業を抜け出して本を片手にこの像が立つ辺りを通り、不來方城に昼寝に行つたそうです。私は啄木の同級生にいただいた3枚の写真をもとに制作を始めた。

めました。この像の制作中、今泉先生は何度か過程を見に来られました。そして、「もう少し詩情性のある美しい顔にしてくれ」というふうに私に課題を出していかれました。完成した啄木像は、希望に胸をふくらませて厳しい北風の中に立つ少年のひたむきな姿を表現しています。台座には歌集『悲しき玩具』の中の一首「新しき明日の来るを信ず」という自分の言葉に嘘はなけれど」と刻んでいます。

次に、今回出品の《今泉亀撤先生》（図2）についてですが、これは何度か先生にお会いするうち、先生の持つスケールのある人間性や存在感を彫刻で表現したい衝動に駆られ、粘土でデッサンするようになり始めたものです。ごく短時間で仕上がった原型は、旧来のブロンズでは無く、素材をかえてアルミ合金のヒドロニウムによって鑄造することで、髪、鼻、頬、唇を研磨して初めて表情を決めることが出来ました。鑄物を削り磨くことで立体感等特有のリアリティがもたらされます。その後アルミ合金の仕事はほとんど続き、1988年7月にはロダン大賞展優秀賞《雲海に立ちて》（430×400×500cm 美ヶ原高原美術館）で研磨がさらに進んだ鏡面仕上げとなり、周りの風景を映し出す作品が完成しました。

振りかえると今泉先生との出会いは私の造形の方角を導いてくれたと感謝しております。



（図2）  
《今泉亀撤先生》  
1974（昭和49）年頃 アルミ合金

### 企画展

#### 〈眼の人〉今泉亀撤のコレクション

2018年9月22日（土）～12月24日（月・休）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（12月24日は開館）

主催：郡山市立美術館

協力：医療法人明信会 今泉眼科病院 今泉西病院

観覧料：一般／800（640）円

高大学生・65歳以上／500（400）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料





# Report

## 第17回 風土記の丘の美術展 ー郡山市内の小学生による作品展ー

2018年7月16日(月・祝)～8月19日(日)

場所：美術館ロビー 主催：郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会

夏休み期間恒例の「風土記の丘の美術展」。市内を5つの地域に分けて、週替わりで展示しました。郡山市内の小学生が図工の授業で作上げた、感性豊かで色とりどりの作品が並びました。



## 第13回 風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ!

2018年8月4日(土)

講師：小中学校の先生 場所：多目的スタジオ

図工や美術の授業内容を体験できるワークショップです。木材やカラフルな材料を使った工作や、楽しいゲームなど様々なテーマのコーナーがあり、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。



## アート・トーク

### 第1回「白石加代子 演じること、語ること」

2018年8月1日(水)

特別講師：白石加代子さん(女優)

松岡和子さん(翻訳家、演劇評論家)

場所：多目的スタジオ

貴重な映像や資料を紹介しながら、白石さんが出演された舞台を中心に、その秘話を交えてお話しいただきました。



### 第2回「美術館のたのしみ」

2018年9月29日(土)

特別講師：池内紀さん(ドイツ文学者、エッセイスト)

場所：多目的スタジオ

執筆範囲が多岐にわたる池内さんならではの視点から美術を捉え、その中で美術館がどのような場所で、どのように楽しむことができるかということをご講演いただきました。



### 第3回「ヒトと動物の比較美学」

2018年11月18日(日)

特別講師：脇田真清さん(京都大学霊長類研究所助教)

場所：多目的スタジオ

サルやほかの動物との比較を通して、ヒトの芸術の認知、絵を観たり描いたりすることについての意味を考える内容でした。



## ターナー展関連

### 講演会1

#### 「風の歌声・光の夢ーターナー芸術の真髄」

2018年7月16日(月・祝)

講師：高階秀爾さん

(大原美術館館長/東京大学名誉教授)

場所：多目的スタジオ

ターナーが絵の中に描き込んだもの、そこから伝えられる歴史的、社会的背景など、ターナー芸術の真髄に迫る内容でした。

### 講演会2

#### 「ターナーが見たもの/ターナーを見たものー19世紀のイギリス社会から考えるー」

2018年7月21日(土)

講師：森 正人さん(三重大学教授)

場所：多目的スタジオ

ターナーが生きた19世紀イギリスの社会について解説していただくとともに、文化地理学の視点から、ターナー作品を考察していただきました。

### 講演会3

#### 「光は海峡を越えて：ターナーのロマン主義からモネの印象主義へ」

2018年8月19日(日)

講師：千足伸行さん

(広島県立美術館館長/成城大学名誉教授)

場所：多目的スタジオ

ロマン主義のターナーと印象主義のモネの絵画主題の類似と作風の相違について、分かりやすく解説していただきました。

## 今泉展関連

### 特別ギャラリートーク

2018年10月8日(月・祝)

講師：吉田尊子さん

(岩手県立美術館学芸普及課長)

場所：企画展示室



展覧会に数多く紹介されている岩手県ゆかりの作家について、地元ならではの視点で詳しくお話しいただきました。

### 講演会「今泉亀撤と岩手の美術」

2018年11月3日(土・祝)

講師：中村光紀さん

(萬鉄五郎記念美術館館長)

場所：多目的スタジオ



今泉亀撤の作品蒐集に関わりのあった中村さんをお招きし、今泉コレクションに収蔵されている作品や作家について解説していただきました。

## 第10回 風土記の空～郡山市内の中学校美術部による作品展～

会期：12月24日（月・休）まで  
 場所：美術館ロビー（入場無料）  
 主催：郡山市立美術館

郡山市内の中学校の美術部の活動で制作された、個性豊かな作品が並びます。中学生が作品を自分自身で額装し、展示するという体験も実施しました。みずみずしい感性にあふれた作品を、ぜひご覧ください。

出品校：日和田中学校、行健中学校、郡山第四中学校、郡山第五中学校、緑ヶ丘中学校、小原田中学校（計6校）



「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」関連イベントにつきましては3ページをご覧ください。

### 常設展示

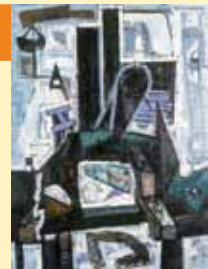
定期的に展示替えを行い、様々なテーマで収蔵作品をご紹介します。

1月20日（日）まで

- 1 自然との対話
- 2 近代洋画の眼
- 3 戦後・画家の試み
- 4 『HANGA』特集／佐藤潤四郎と仏足跡

1月23日（水）から

- 1 18－19世紀イギリス絵画
- 2 日本の油彩画
- 3 佐藤昭一とその時代
- 4 吉田博・ふじを・穂高／佐藤潤四郎とガラスの神様



佐藤昭一《廃坑》  
1956（昭和31）年 油彩・キャンバス

## TOPICS



営業時間／11:00-17:00  
 電話／024-942-2250

WAIFLE Franboise & Pistachio.ver

ワッフル フランボワーズとピスタチオ

単品 690円（ドリンクセット 1,070円）

ベルギー産の良質シュガーを使用したリエージュ風ワッフル。  
 フランボワーズテイストのワッフルと、栄養価の高いリッチでまろやかなピスタチオジェラートを添えて。

メニューや料金、営業時間は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



表紙の  
 作品

山本森之助《冬の磐梯山》

1918（大正7）年頃 油彩・キャンバス 76.0×106.5 cm

山本森之助は長崎に生まれ、明治、大正にかけて活躍した外光派の風景画家です。晴天の日の明るく澄んだ冬の景色が清々しいこの作品は、猪苗代湖越しに見える磐梯山を描いたものです。残された資料から、現在の会津若松市湊町、中田湖水浴場付近から見た風景であると思われます。この場所では、現在も同じように本作品の風景を見ることができます。



全館休館のお知らせ

2018年12月28日（金）～2019年1月4日（金）

年末年始のため全館休館となります。

郡山市立美術館  
 Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2  
 TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350  
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/>

発行日／平成30年12月11日

敷地内禁煙



紙へリサイクル可  
 この印刷物は、適切に育まれた森から生まれたFSC®認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。